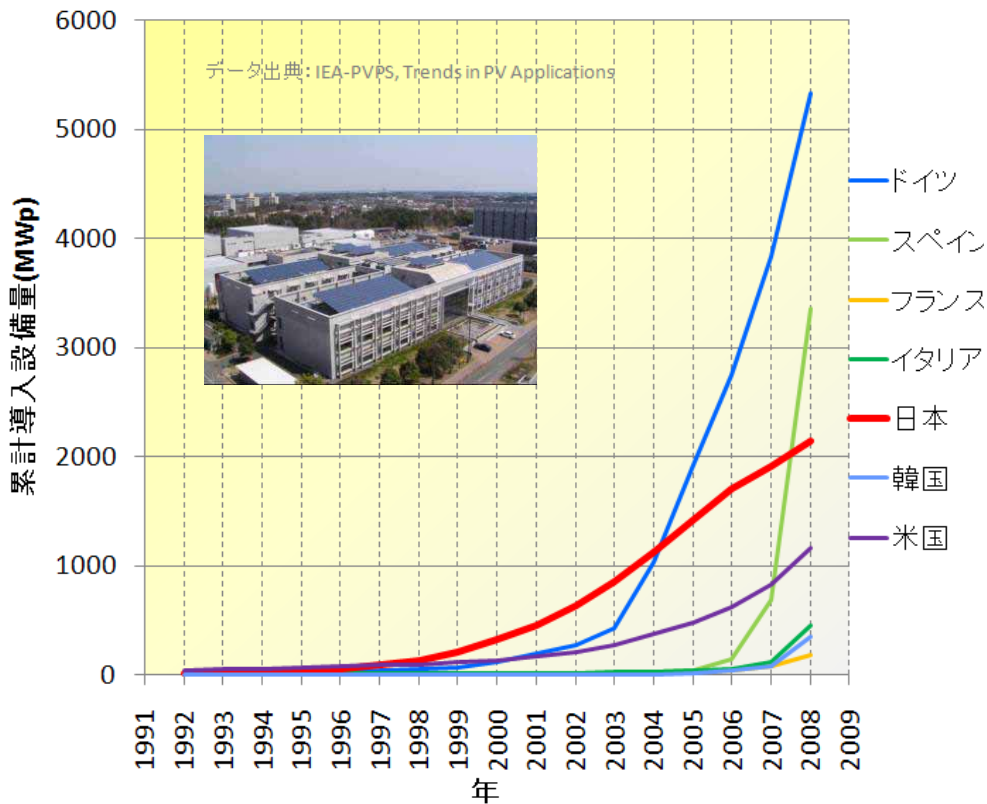


2009年12月8日

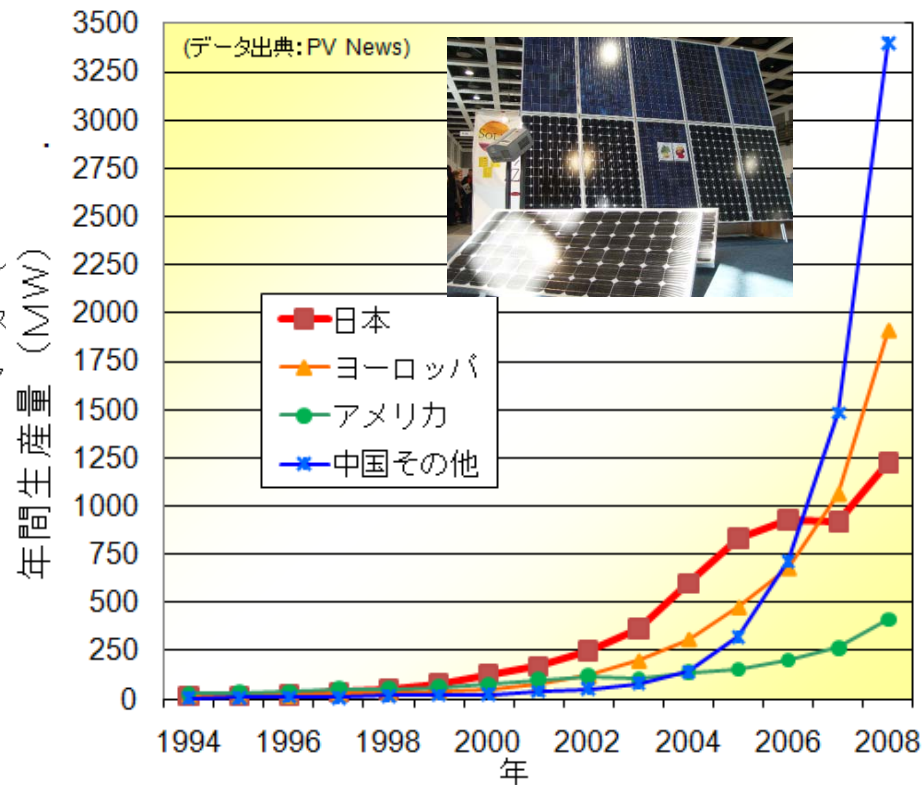
# 知財を巡る新しい課題

独立行政法人産業技術総合研究所  
理事長 野間口 有

## 各国の累計導入量の推移



## 生産量の推移



・競争激化により、我が国は太陽光発電導入量、太陽電池生産量で**世界3位**に転落。

・但し、技術力(太陽電池モジュール、周辺部材)は依然**世界トップ**。

# 「高信頼性太陽電池モジュール 開発・評価コンソーシアム」

太陽電池モジュールの信頼性の向上と長寿命化によるコストの低減に向けて、産総研と、化学メーカー、部材メーカーを中心とする**民間企業31社**が共同で研究開発を推進。

(参加企業31社、五十音順)

旭化成ケミカルズ株式会社、旭硝子株式会社、エスペック株式会社、大倉工業株式会社、株式会社カネカ、株式会社クラレ、シーアイ化成株式会社、株式会社スリーボンド、積水化学工業株式会社、ソニーケミカル&インフォメーションデバイス株式会社、ダイキン工業株式会社、大研化学工業株式会社、ダイセル化学工業株式会社、大日本印刷株式会社、DIC株式会社、デュポン株式会社、電気化学工業株式会社、東洋アルミニウム株式会社、東洋紡績株式会社、東レ株式会社、東レエンジニアリング株式会社、凸版印刷株式会社、日産化学工業株式会社、日東電工株式会社、日立化成工業株式会社、富士フイルム株式会社、藤森工業株式会社、三井化学株式会社、三井・デュポンポリケミカル株式会社、三菱樹脂株式会社、リンテック株式会社

## 太陽電池モジュールの寿命・信頼性を決める部材

太陽電池(セル)

保護・封止樹脂

カバーガラス

太陽光発電モジュール

フレーム

端子保護箱

配線材

(max. ~1500V)

屋外暴露試験設備  
(茨城県つくば市)

**RCPV**  
AIST Research Center for Photovoltaics  
太陽光発電研究センター

太陽光発電コストの大幅低減のために必須の**太陽電池モジュールの信頼性向上・長寿命化**に求められる基盤技術をボトムアップさせ、**国際標準化**も図ることにより、わが国太陽光発電産業の**国際競争力を強化**することを目的とする。

## コンソーシアム

### 運営規程

コンソーシアムの研究成果に関する知財を、参加企業が相互に利用し易いよう統一ルールを規定

企業A

共同研究契約

企業B

共同研究契約

企業C

共同研究契約

### 参加機関

(31社)

各社とも  
同じ内容の契約



### 協力機関

必要に応じ評価・分析等で研究に協力

- 高信頼・長寿命太陽電池の実現 (20年程度→40年程度)
- 評価技術の確立

知財

知財

知財

知財

国際標準への提案  
国際競争力の強化

# 知財を巡る新しい課題

- 低炭素社会の実現に向けて、環境・エネルギー・資源分野等の研究開発を加速化させるためには、**知財の創造・保護・活用**が極めて重要
- 大学・公的研究機関や中小企業を含む多数の企業による**オールジャパンでの研究開発推進**が重要
- **研究開発成果 → 知財 → 世界へ普及**  
(国際標準化、技術移転)により、国際競争力を強化することが重要